

# 日工販ニュースVol.18 No.3



もくじ

巻頭言「V字型回復」	日工販理事 横幕 武夫	2
話題の技術「複合加工の現状」	中村留精密工業(株) 小西 憲治	4
業界よもやま「2005年日工会受注・販売実績」「平成17年小形工作機械受注額・出荷額」 「2005年工作機械機種別輸入通関実績」		6
私の読書評「会社はだれのものか？」	三立興産(株) 石原 孝司	10
工作機械と私「御縁」	ワシノ商事(株) 田中 公之	11
議事録「調査広報」「西部・時局講演会」		12
SE教育「合格者」		15
リレー随筆 Part 2「私の癒し」	(株)兼松 K G K 原 信行	16
統計資料「FA流通動態調査1」「マシニングセンタ・NC旋盤動向」「工作機械受注高月別推移」 「上位2機種の販売と輸出入」「工作機械業種別受注額」		17
甘口辛口「アメニモ、カゼニモ負けぬ丈夫な体をもち...」		
	宮脇機械プラント(株) 宮脇隆一郎	22
消息・行事		23
会員会社		24

## 【 V 字型回復 】



日工販理事

横 幕 武 夫

(伊吹産業㈱ 代表取締役)

破産状態だった備中松山藩の財政再建をした山田方谷(やまだほうこく)、『炎の陽明学』山田方谷の伝』を読みましたが、中身はV字型回復した企業によく似ています。

山田方谷(1805~1877年)は農家に生れ幼い頃から聡明で儒学の道を歩み始め、やがて藩主に見込まれ、45歳で破産状態だった藩の財政再建を命ぜられ、僅か8年間で10万両の借財を10万両の蓄財にかえてしまった。山田方谷は身分制度を否定し、能力本位で私塾の弟子たちの中から農民、商人を問わず、能力のある者を要職につけた。

身分制度を否定した事が幕府に分かると都合が悪く、独裁者として秘密主義の内に藩を動かしていく必要があり、独裁者にならないと改革が出来ないと藩主から全権を取り付けた。


方谷の革命の基礎知識は、幼少より儒学を徹底的に学び、いろいろな知識を身に付け、紀元前から貨幣経済がある中国の政治経済を熟知していた。

その中でお金が果たしている役割をすべて学んでおり、藩政改革に必要な知恵を集約し、一挙にやったのが方谷革命である。

金銀銅貨を作れるのは幕府だけで、藩は兌換紙幣として藩札を作ることが許されていた。

備中松山藩は金詰りになると藩札を印刷しバラ撒いていた。

その結果、藩の年間歳入が元金と金利の返済も賄えないサラ金地獄の破産状態に陥っていたのである。



方谷は債権者の豪商を個別ではなく一堂に集め、現状を赤裸々に説明し、『このままでは金利も払えないので元金返済を10年間棚上げして欲しい、但し金利は払います。それと担保の米を返してもらいたい。』と借金をした者の強みで話をつけた。

商人と結託し、いい加減な相場で売っていた藩の大阪蔵屋敷を廃止し、米を藩に持ち帰り、市場の大きい江戸に蔵と販売所を新たに設け、高い相場の時に直販した。

賄賂温床であった大阪蔵屋敷を廃止することによって年間1千両の節約が出来た。

次に藩札を金、銀、銅で買い集め殆ど交換した頃、『月 日藩札を火にくべる。どうぞ見に来てください。』と御触れを出し、大群集の前で焼いてしまった。

その結果、藩民や藩以外の人達は、備中松山藩は藩札一つにしてもキチッと約束を守ると高く評価した。藩の信用は一挙に高まり、備中松山藩は必ず金銀に換える兌換紙幣しか発行しないと信じさせ、満を持して新しい藩札をドーンと出したら藩民だけでなく藩以外の人達まで松山藩の藩札は正貨と同じと思ひ込み、藩は膨大な資金を集める事が出来た。

その資金で、製鉄工場の建設や貿易を盛んにする為に河川や道路工事の公共投資を行った。

この工事には農民が携わり、賃金が払われ、又農地の開墾を奨励し、成果は農民に分け与えた。結果藩全体にお金が回り、経済が活性化した。勿論工場で作った工業製品(備中鋏)やタバコ等の製品も江戸で直販し、莫大な利益を上げ藩の財政再建を成し遂げた。

『新藩札発行で資金を集めた山田方谷が、私利私欲に走らず、優れた経済知識と正しい判断のもとで事業を計画し、素早く何事にも屈しない実行力が藩の財政を立て直した。

資金の使い道を間違え失敗していたら、藩民をも騙した詐欺師で終わっていた。

経営者には、「知力と正しい判断力、何事にも屈しない実行力」が必要である。

膨大な借金を抱えた日本政府、知恵のある人材が欲しい。ずる賢い人は要らない。』

参考：『炎の陽明学』著者 矢吹邦彦・明德出版社

# 分かりやすい話題の技術

## No.86

### 「複合加工の現状」



中村留精密工業㈱  
販売促進部販売促進課課長  
小西 憲 治

製造業において、アジアの急速な高度成長に伴い日本における製造業もより進化するべく5軸加工機や複合旋盤による工程集約が注目されています。

中村留精密工業は約20年前より2スピンドルの複合旋盤に特化し工程集約、工程短縮を目指す工作機械を提案しつづけており、最新モデルであるSuperNTJX、SuperNTY3においては業界初である上下刃物台にXYZ3軸を搭載した複合旋盤を発表しました。SuperNTJXは上方にATCタイプXYZ+B軸を持った工具主軸、下方にはタレット12角24ステーションがXYZ可動で両刃物台は2スピンドル両側への加工が可能

です。SuperNTY3は、上方に2つのタレットが左右にあるスピンドル用にXYZ可動で搭載され、下方に1つのタレットがこれもXYZ可動で左右どちらへも加工可能です。合計3つのXYZ可動なタレットが搭載された高能率量産加工機です。

複合旋盤による工程集約では旋盤加工とマシニング加工を1台の機械で行えます。それによって製品の寸法精度を確実なものとし、また注文に応じて加工量を管理しやすく小ロット生産に向いています。

そして、当社新製品SuperNTJX、SuperNTY3は上下刃物台がXYZ可動であるこ



SuperNTJX



SuperNTY3

とから、上下から同時にマシニング加工が行える面が多くなり、今までより30%程度の工程短縮が見込めます。

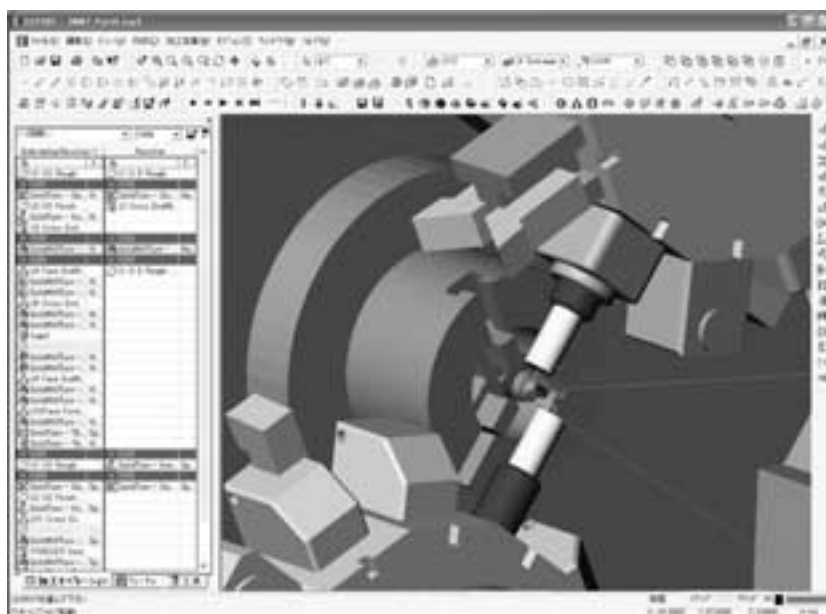
多数の軸を持つ機械なだけにその加工プログラム作りも心配されますが、近年の3次元CAD/CAMの普及と発達に伴い、発注先から3DデータをEメールで受取り、そのデータをそのままCAMへと入力してプログラムを作る風景も数多く見かけられます。

2スピンドルによる集約加工、2つ以上の刃物台によって表裏同時加工をしたり、どちらかの工程に余裕があれば両刀で同時切削することによりさらに工程時間を短縮させることができるといった工程の組み合わせを3D CAD/CAMを用いた加工工程のシミュレーションによる確認をして、実機での作業時間を減らし稼働効率を高められます。

複合加工機では複数の刃物台を利用して加工できます。たとえば一方のタレットをワークのセンターサポートや振れ止めとして利用しシャフトや長尺のワークを削ったり、2スピンドルで

ワークの両側を持ちながら削ることができます。またスピンドルのC軸制御と工具主軸のモーターパワーも高出力なものが搭載されるようになり、XYZC同時4軸切削も可能で、さまざまな加工にも対応できます。最近では旋盤加工の代わりに回転工具を使ってワークをゆっくり回しながら加工していくミルターン加工や、マシニングでよく見られる突き加工なども可能になってきました。そのような加工ツールパスもCAD/CAMを活用することにより効率良く加工できるようになってきました。

今後は、CAD/CAMによるプログラムや製品作りをより一層早く作成するために、形状情報や加工ノウハウをパターン化し、誰でも高品質の製品が作れるようになるナレッジ製造技術が必要になってきています。団塊の世代2007年問題が近づき、熟練者は若い世代に技術伝承を行うとともに、若い世代が得意とする情報技術を利用してこうした生産技術進化をしなければいけない時期に今直面しているのであろう。



CAD・CAMシミュレーションイメージ

## 2005年日工会受注・販売実績

去る2月15日(社)日本工作機械工業会は2005年の工作機械受注実績の概要を発表した。

受注総額は前年比10.3%増の1兆3,632億円の前年に引き続き大幅な増加となった。

年初見通し1兆1,500億円、8月に行なった上方修正1兆3,000億円をともに上回り、昨年に引き続き1兆円を超え、90年1兆4,121億円に次ぐ史上2番目となる高い受注額を記録した。うちNC工作機械は1兆3,040億円(前年比10.9%増)で04年の1兆1,763億円を上回り史上最高額を更新した。

内需は11.0%増の7,467億円となり3年連続のプラス。外需も9.4%増の6,164億円となり、昨年を上回り史上最高額を更新した。

日工会発表の月別受注及び過去5年の内外需別受注は、日工販ホームページに掲載されているのでご覧下さい。2005年の機種別受注・販売額は下記の通りです。

(単位：百万円、%)

機 種	曆 年	受 注			販 売		
		2004年	2005年	前年比	2004年	2005年	前年比
旋 盤		362,807	406,880	112.1	295,095	370,931	125.7
ポ ー ル 盤		38,983	44,746	114.8	38,189	43,267	113.3
中 ぐ り 盤		17,321	22,750	131.3	12,476	15,977	128.1
フ ラ イ ス 盤		13,797	13,226	95.9	11,647	15,657	134.4
研 削 盤		119,840	120,117	100.2	89,492	112,527	125.7
歯 車 機 械		24,081	29,776	123.6	20,155	28,725	142.5
専 用 機		63,204	74,066	117.2	45,034	75,990	168.7
マシニングセンタ計		418,112	471,429	112.8	344,457	418,213	121.4
立 て 形		190,640	215,508	113.0	159,783	180,483	113.0
横 形		183,131	204,695	111.8	156,978	199,591	127.1
そ の 他		44,341	51,226	115.5	27,696	38,139	137.7
放 電 加 工 機		57,627	58,726	101.9	54,834	58,046	105.9
そ の 他		76,798	79,788	103.9	60,892	74,690	122.7
F M S ( 丸 ・ 角 ) 計		43,622	41,696	95.6	25,605	32,478	126.8
計		1,236,192	1,363,203	110.3	997,876	1,246,501	124.9

出所：(社)日本工作機械工業会

(注)00年より、マシニングセンタは立て形、横形、その他が内訳機種として特掲され、FMSの丸物と角物は統合され合計のみとなった。

# 平成17年 小形工作機械受注額・出荷額統計

(平成17年 1月～12月)

## 受注額

分類		受注実績	台数 (台)	金額 (千円)	輸出台数 (台)	輸出金額 (千円)	比率 (%)
非 NC 小形 工作 機械	小形旋盤		271	235,126	20	25,299	10.8
	小形自動旋盤		56	551,700	15	12,000	2.2
	小形フライス盤		30	82,228	2	7,000	8.5
	小形研削盤		966	4,261,286	73	687,142	16.1
	その他の小形工作機械		3,198	3,979,606	184	539,371	13.6
	小計		4,521	9,109,946	294	1,270,812	13.9
NC 小形 工作 機械	NC小形旋盤		5,187	41,577,880	2,832	20,133,272	48.4
	NC小形フライス盤		3	60,000	0	0	0.0
	NC小形研削盤		702	13,780,683	204	3,821,159	27.7
	小形マシニングセンタ		937	9,641,681	236	2,160,177	22.4
	その他のNC小形工作機械		999	8,630,806	352	2,697,893	31.3
	小計		7,828	73,691,050	3,624	28,812,501	39.1
付属品・ユニット・部品			0	14,618,802	0	2,794,393	19.1
合計			12,349	97,419,798	3,918	32,877,706	33.7

## 出荷額

分類		出荷実績	台数 (台)	金額 (千円)	輸出台数 (台)	輸出金額 (千円)	比率 (%)
非 NC 小形 工作 機械	小形旋盤		293	272,984	27	49,665	18.2
	小形自動旋盤		61	717,687	3	5,087	0.7
	小形フライス盤		23	64,060	2	7,000	10.9
	小形研削盤		941	5,132,732	108	585,270	11.4
	その他の小形工作機械		3,182	3,688,068	216	493,344	21.5
	小計		4,500	9,875,531	356	1,440,366	14.6
NC 小形 工作 機械	NC小形旋盤		4,790	38,604,703	2,596	17,924,055	46.4
	NC小形フライス盤		0	0	0	0	0.0
	NC小形研削盤		646	11,591,754	229	3,555,678	30.7
	小形マシニングセンタ		797	8,690,242	231	2,409,169	27.7
	その他のNC小形工作機械		859	8,205,338	359	3,165,383	38.6
	小計		7,092	67,092,037	3,415	27,054,285	40.3
付属品・ユニット・部品			0	17,146,829	0	3,414,911	19.9
合計			11,592	94,114,397	3,771	31,909,562	33.9

出所：日本小型工作機械工業会

## 2005年 工作機械機種別輸入通関実績

(平成17年1月～12月)

単位：百万円

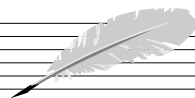
機 種	台 数	金 額
NC横旋盤	1,243	4,440
普通旋盤(ベッド上の振りが1,000mm以上) 短軸自動旋盤及び自動ならい用旋盤	400	87
その他横旋盤	1,670	442
その他NC旋盤(横旋盤以外)	127	1,055
その他旋盤(横旋盤以外)	701	152
小 計	4,141	6,177
ウェイトタイプユニットヘッド機	3	28
小 計	3	28
NCボール盤	49	726
ボール盤	20,532	369
小 計	20,581	1,095
NC中ぐりフライス盤	10	64
中ぐりフライス盤	154	16
その他中ぐり盤	18	71
小 計	182	151
NCひざ形フライス盤	48	214
万能工具フライス盤及びならいフライス盤	6,605	417
その他ひざ形フライス盤	37	20
NCその他フライス盤	151	1,023
プラノミラー		
その他フライス盤	1,190	171
小 計	8,031	1,846
NC平面研削盤(軸の位置決め精度0.01mm以内)	183	1,618
平面研削盤(軸の位置決め精度0.01mm以内)	587	1,160
NC研削盤(軸の位置決め精度0.01mm以内)	193	2,161
ねじ研削盤(軸の位置決め精度0.01mm以内)	5	9
その他研削盤(軸の位置決め精度0.01mm以内)	122	516



単位：百万円

機 種	台 数	金 額
NC工具研削盤	152	1,911
工具研削盤	29,284	443
ホーニング盤及びラップ盤	37	712
その他研削盤	66,989	1,999
ホーニング盤、ラップ盤、研削盤その他の仕上用加工機	5,323	635
小 計	102,875	11,164
歯切り盤、歯車研削盤及び歯車仕上盤	127	8,701
小 計	127	8,701
マシニングセンタ	863	3,777
小 計	863	3,777
ユニットコンストラクションマシン	50	143
マルチステーショントランスファーマシン	9	501
小 計	59	645
レーザー及び光子ビーム加工機械	1,061	12,612
超音波加工機械	51	299
NCワイヤカット放電加工機	890	6,346
NC放電加工機(ワイヤー放電以外の機械)	439	3,680
放電加工機	153	196
ドライエッチング機械(半導体材料加工)	253	47,347
電気化学方法、電子ビーム、イオンビームその他加工機	464	941
小 計	3,311	71,422
ねじ切り盤及びねじ立て盤	1,067	250
形削り盤及び立削り盤	476	221
ブローチ盤	6	7
金切り盤及び切断機	70,707	1,743
その他の加工機械	205	179
小 計	72,461	2,400
工作機械合計	212,634	107,406

出所：財務省貿易統計



## “会社はだれのものか？”

岩井 克人 著(平凡社)



三立興産(株)  
名古屋支店長  
石原 孝 司

私の読書タイムは、往復2時間の通勤列車の中であり、持ち運びに便利な単行本(時代小説)が必然的に多く、時代小説はその置かれる状況・背景・考え方・主人公との擬似体験等、歴史は繰り返すと言うが人間と人間の関係は、過去・現在・未来と変わらなく、1番好きなジャンルです。そんな中でビジネス物は、やはり書店に行って興味を引きそうな題名の物について手が出て読んだ一冊に今回ご紹介の「会社はだれのものか」がありました。ライブドアとフジテレビによる、ニッポン放送をめぐる買収合戦により、題記の議論が日本中でなされている時期でもあり、興味を持って読ませて頂きました。

本書の結論から先に申し上げますと、株主のものでもなく、経営者・従業員のものでもない「会社は社会のもの」との結論です。以下要点を抜粋します。

会社とは「法人企業」の別名、法人とは社会にとって価値を持つからヒトと認められている、社会的な価値とは、社会にとっての価値、まさに社会が決めて行く価値である。資本主義とは、その中核の部分で人間の倫理的であることを必要とした社会体制である。最近特に話題になっているCSR(コーポレート・ソーシャル・レスポンシビリティ：会社の社会的責任を意味する略語)の考え及び意識の欠如が東京電力の原発事故未報告、三菱自動車のリコール隠し、日本航空の多発ミス、JR西日本の大規模事故、耐震強度偽装など次から次へと起こる日本の主要企業の不祥事の原因ではないか？

この社会的責任がどのような内容になるかは、社会正義の実現や公共福祉の増大、地域環境、グローバル環境、未来環境への配慮という風に、市民意識の成熟に応じて社会から責任の範囲は拡大していく。この市民意識の成熟が同じ社会の法人として活動している会社に対し、それをヒトとして承認するための存在理由として、たんなる利益の追求を超えた何か、法的な義務を超えた何かを要求している。資本主義社会の中に置ける会社の本質的矛盾から構造・経緯まで事件の例を上げながら説明なされている。興味がある方は是非お読み下さい。

そんな中で一番感じた事は、弱肉強食が進む競争社会でますますおカネの威力が増しているが、本書はこれからはおカネの力が弱くなって優れた個人の力、意識的な違いからしか利益が生まれれない時代。ほかと違った製品・ほかと違った技術・ほかと違った市場・ほかと違った経営手法を開発している知識や能力を頭に蓄えたヒトの時代であるとの事。

我々も、生産財を販売している小さな業界ではあるがバブル期を超えるような売上に浮かれることなく社会の中で存在価値を高めるべくヒトとして今一度足元を見直すべき時ではないかと思う次第です。弊社の本年度モットーは「自分でやらなきゃ何も変わらない」です。各個人それぞれが地道な努力を継続し続け、成熟した社会(すばらしい社会)の一歯車としての組織(会社)の一員として、頑張りましょう。

## “ 御 縁 ”



ワシノ商事(株)  
名古屋支店 機械部 主査  
田 中 公 之  
(SENo.03-2S-0432)

まずはワシノ商事(株)の紹介を少しさせて下さい。皆さんワシノと聞くと何を思い浮かべますか？  
年配の方は旋盤のワシノ機械を思い浮かべる方も多いことと思います。また、それより少し若い方からは現在の旋盤、研磨機、環境機器のワシノを思い浮かべる方も多いと思います。  
弊社もワシノの名前が付いていますが、元を辿ればワシノ機械内の商事部門が昭和53年に分離独立して発足し、現在は工場内設備や環境機器などを販売しております。  
会社のPRはこれくらいにし、今回の体験談寄稿に当たり何を書いたらよいか色々と考えましたが、1人で営業に回り始めた頃の出来事とその時感じた事をお話したいと思います。

私が最初に担当を任されたのはニューセラミック関連のお客様でした。最初セラミックと言えば茶碗、陶器(オールドセラミック)ぐらいの知識しか無くなかなか話も出来ず、ましてや引き合いがなく悩む毎日でした。商品知識を増やす為に、今ではインターネットを使用する事が多くなりましたが、当時はその様な便利な物が無く新商品を見つける為に工業新聞、専門誌などを見て気になる商品の切り抜きスクラップ帳作りを始め、営業PR活動に利用する事にしました。元来口下手で営業センスが無いのか努力が足りないのか？

引き合いを頂けない状態が続きました。そんなある日、あるお客様から「リード線をテープで束ねたいが何か簡易に出来る物を探してほしい」と依頼を受けました。初めての問い合わせでもあり何とかしたいとの思いから最初は自作のスクラップ帳を見たり、周りの人に聞いたりし、探し始めましたが要望に沿う物がなかなか見つかりませんでした。色々考えましたがヒントは案外近くにあるもので、自宅にパン袋などの口をテープで止める器具がありそれを見てもらおう事にしました。するとお客様が「イメージそのもの」との事ですぐに購入を決めていただきました。問い合わせから販売まで1人で行い価格はわずか2,000円と小額でしたが私の初実績となり、今でもその記憶は鮮明に思い起こされます。

その後、そのお客様から機械の引き合いが少しずつ増えて購入して頂ける様にもなりました。原点はやはり2,000円と小額でしたが、あの時の販売が「御縁」のつながりであり、またヒントは案外身近な所に有るものだとも思いました。その時の経験から、小額であろうとも親身に対応する事を心がけないと機械の様な高額の商品販売になかなか結びつかないと思っています。これからもその気持を大切に商品知識をみがき、人との御縁を忘れずお客様に接していき少しでも喜んで頂ける営業を心がけたいと思っています。

## 第88回 調査広報委員会

日 時：2月21日(火)12:30~15:00

場 所：機械工具会館5階

出席者：田尻委員長、委員5名、事務局2名

委員長挨拶：

日工会発表の受注状況は好調で落ちていない。日本経済新聞は景気の本格回復を伝えており、設備投資動向、輸出、個人消費動向から見て流れとしては数年前に比べ数段良くなっていると思われる。石川会長が協会活動を活発に進めると言われているように、当委員会としても活動を充実するよう取り組んでいきたい。

議 事：

### (1) 次年度事業計画のこと

調査広報活動検討

#### a) 日工販ニュースの発行方針

討議の結果、昨年と同様年10回発行とすることで、全員の賛成を得たので理事会に提案することにした。

#### b) 日工販ニュース、動態調査以外の事業具体案

JIMTOF開催時に会員会社幹部クラスの座談会を開催。詳細については年度が変わった早い時期に決定することにした。

#### c) 予算案策定について

荘司専務より17年度の実績が予算内に収まる見通しであるとの報告があった。広報資料送付費用を委員会予算に組み入れることにし、委員会費用、日工販ニュース関連費用、機械統計月報・経済産業省公報購読費用、統計要覧配布費用、名簿発行費用積み立てを実績を勘案して予算策定し、5月の理事会に提案し了解を得ることにした。

委員会開催日程について

5月、7月、9月、11月、19年/2月の5回開催。

### (2) 日工販ニュース編集の件

編集方針検討

3月号編集方針承認。

18年度日工販ニュース表紙検討

デザインは現在のものを継続使用し、色は深みのあるブルーを採用。

次回開催予定：

5月16日(火)12:30~15:00

機械工具会館5階

## 西部地区新春時局講演会

日 時：18年1月25日(木)15:00~16:45

場 所：大阪産業創造館6階会議室E

参加者：正会員29名、賛助会員メーカー21名  
リース7名、事務局1名、計58名

演 題：『「破壊」から「創造」へ

日本経済・社会の底流を読む』

講 師：松 下 滋 氏

明海大学経済学部講師、

元三和総合研究所取締役理事

赤澤委員長より挨拶があり、司会の横幕副委員長より講師紹介の後、昨年に引き続き松下講師による講演が行われた。

講演要旨：

・ライブドア問題：

閉塞感を打ち破る若者への期待感があった。

米国のシリコンバレーでの成功会社には年配

の知恵者がアドバイザーとしてついていると聞く。ライブドアには若いエネルギー、エンジンはあったが方向を確認するハンドルが不足していた。機能的知恵者はいたが人間的知恵袋がいなかったことであろう。



景気の現状：

日本：流れは良くなってきている。4年前から転換点は2005年とやってきたが大筋は外れていない。過剰整理が進んだ。銀行の不良債権処理、在庫調整が進んだ。イノベーションのうねりは明白。海外環境も良好。ただし今後はしっかりしたガバナンスが重要。

UFJ総研経済見通しでは05年度実質成長率は2.6%、06年度2.7%。06年度は設備投資8.8%、輸出7.9%が公共投資8.5%をカバーし日本経済を引っ張る。日経平均も年末に向けて2万円を目指す。

消費者物価も0.3%と若干デフレを脱する。

デフレの脱却、メガバンク3行による貸し出し競争激化、来年の増税の可能性から本年中に金融政策をニュートラルに切り替えたほうが良いので、06年央に量的金融緩和解除がある。

外需：

米：持続的金融緩和解除し引き締めへ。原油高騰の影響あるも堅調を堅持。バーナンキへの課題は住宅バブルの処理。05年実質成長3.5%、06年3.3%成長。年率1%弱の人口増が経済成長を支える。ただし人種間摩擦増大。

中：経済が若いため高成長持続可能。05年9.9%、06年9.3%成長。課題を抱えながら08年北京オリンピック、10年上海万博まで成長を続ける。その先は分からない。

アジア9カ国：各種タイプの経済が混ざり合い相互を刺激し活力を高めている。06年実質7.1%成長。

EU：実質2.1%成長。

流れ：

・海外の日本観、大きく変化：

英：60年高度成長時代「日は昇る」、80年「日は沈む」、89年バブル時「日はまた沈む」と書いていた英国「エコノミスト」エモット編集長は久しぶりに05.10.8「日はまた昇る」と書いた。日本企業のものづくりの現場ではスリム化とロボット導入等の省力投資で課題である少子高齢化を乗り越えている。政治も小泉首相が風穴を開け、利益誘導型政治をぶち壊し、変わり始めている。ドイツも2~3年遅れで変わり始めていると氏はいう。

米：ビジネスウィーク05.9.26「日本の銀行は蘇った」。金融システムの徹底改革がバックアップし大銀行不良債権比率01年9%から05年5月には2.9%まで低下し、信頼性が高まった。リスクは残るも成長軌道を回復。

・加圧する変革のエネルギー：

残されているのは行政大改革であり、小泉竹中路線でやり抜けるか。

転換点は2005年：

・60年サイクルの視点：

日本経済・社会のサイクルは上昇期30年、下降期30年の60年サイクルで動いている(公文俊平教授の見解がヒント)。1945~1975上昇期、富国、近代化、高度成長。1975~2005下降期 Japan as No.1からバブル崩壊へ。2005~2035の30年は再上昇期、豊知の時代であり高度情報化社会。長い時間軸

での人づくりが大事。選手交代が起き、イノベーションのうねりが来る。

・海図はある：

海図なき航海への旅などといわれるが海図はある。あきないの基本を説いた石田梅岩の石門心学や経営哲学・企業倫理に関する渋沢栄一・松下幸之助の考えを思い起こし、まじめに努力しようとする倫理観を取り戻せば回復し始めた経済を更によくすることができる。この辺のことが企業のガバナンスでありコンプライアンスといえる。コンプライアンスとは、法律違反をしないことはあたりまえで、文書化され社内規定された企業倫理、企業のスタンスに従うことである。また伊能忠敬は55歳から全国測量を開始しているわけで、中高年にも海図はある。暗殺される82歳まで大蔵大臣として活躍した高橋是清もいる。

・日本人の転換能力：

昭和39年の経済白書を私の師匠でもある金森さんは日本人の持ち味である転換能力を發揮すれば日本経済は立ち直ると編集された。転換能力のDNAは今も日本人にあり、いい意味で変わり身が早い。転換能力を發揮した人が時代を作ってきた。

2005年を転換点として以降は再生を超えて進化の時代となる。

少子化、高齢化への対応：

・少子化：

英国はブレア首相が働き盛りの30代の女性に出来るだけ弾力的休養を与えるよう強く企業に要求した。これにより30台の女性が企業に定着し長い目で見れば生産性も上がり、方々、育児にもプラスに働き21世紀に入りじわりと出生率が反転し始めた。出生率が下がると決め付けずに、日本も英国に学ぶところがあるのではないかと思う。日本の出生率

1.26に対し韓国はもっと低く1.1。

・高齢化：

日本のみならず各国とも先行き高齢化する。日本が高度成長し、公害問題を解決し地球環境問題を世界に提起した。高齢化に関しても先駆的経験を世界へ発信する立場となり得る。

2025年労働者平均年齢(ビジネスウィーク) 日本50歳、中国46歳、ドイツ48歳、アメリカ39歳。

エルダーマーケットを發掘し、中高年も学び、働き、楽しむべきである。然し、人口増は経済の活力であることには変わらない。

BRICs考：

・2003.10ゴールドマンサックス社の2050年GDP予測；

2050年のG6：中国、アメリカ、インド、少し離れて日本、ブラジル、ロシア

・いくつかの課題：従来の経済大国＝豊かな国であるが、中国・インドの一人当たりの所得は英国などより低く、ねじれ現象として所得格差が広がる懸念がある。中国の国家体制の問題もある。同予測ではBRICs諸国の為替は300%切り上がると見ている。アジア周辺は世界最大のエネルギー消費地になる。

課題はあるが、BRICs各国の成長は日本にとっても刺激となり、マーケットも広がりプラスとなる。

・上記G6の日本以外はみな資源国：

国土が広ければ何かが出てくる。ロシアの国土面積は日本の40倍以上、中国、アメリカは26倍、ブラジル23倍、インドは10倍弱。これらの国と戦う訳であるが、日本のリソースは人である。日本同様島国である英国はサッチャーであれ、ブレアであれ教育に力を注いでいる。我々も長い時間軸で教育に頑張っていかなければならない。

## 安全への配慮：

安全への配慮、自然災害への対応は難しいが、いざという時の最初の一步が大切である。何かあったらこうするというを決めておくことと、ノウハウの伝承が大事。

## 2005年は節目の年：

政治：自民党単独政権、宮澤内閣後12年、干支が一巡。小泉首相で風穴は開き、利益誘導型政治は破壊されたが、何を創るかはこれから。

社会：阪神淡路地震、オウム事件から10年、信頼性が失われてから10年。

金融：97年山一証券破綻から8年。メガバンク3行となる。

## 結 論：

経済環境は良くなったが、道はまだ3合目である。企業はコンプライアンスを高め、社会に認識されるようにスタンスを確認して前進する。国の政治は外交が心配。従来、日本は対応国家でありプレッシャーへの反応政治であったが、今後はそれでは駄目である。BRICs時代でありアジアはダイナミックに変わっていく故、新しい指導者のリーダーシップが望まれる。エモット氏曰く「日はまた昇る」。漸く努力をすれば報われるようになってきている。道を誤らないようにしていただきたい。



## 日工販SE合格者 第130回発表

今回は2月の合格者12名です。

認定No.	会社名	合格者名
06-15-1731	甲信商事(株)	山崎 正氏
06-15-1732	甲信商事(株)	宮澤 賢史
06-15-1733	(株)東 陽	畔柳 尚記
06-15-1734	伊吹産業(株)	横幕 久治
06-15-1735	伊吹産業(株)	渡部 純典
06-15-1736	オークマ(株)	垂門 伸由
06-15-1737	(株)森精機製作所	王 少輝
06-15-1738	メルダスシステムエンジニアリング(株)	渡邊 卓哉
06-15-1739	メルダスシステムエンジニアリング(株)	稲森 久巳
06-15-1740	メルダスシステムエンジニアリング(株)	森山慎太郎
06-15-1741	UFJセントラルリース(株)	澤田 浩明
06-15-1742	ダイヤモンドリース(株)	横塚 俊明

## 『更新研修』合格者 第82回発表

今回は2月の合格者4名です。

認定No.	会社名	合格者名
06-10R-1289	帝通エンジニアリング(株)	須原 宏行
06-10R-1312	サンコー商事(株)	杉林 健一
06-10R-1205	東銀リース(株)	田口 穰
06-10R-1413	三井リース事業(株)	福田 真一



# リレー随筆



## Part 2

### 『私の癒し』



(株)兼松KGK  
金沢営業所  
原 信 行  
(SENo.02-10-1387)

私がスノーボードを始めたのはわが社に入社した8年前になります。最初の赴任地が長野だったのがきっかけです。もともと学生時代に毎年スキーをしに長野を訪れていたため抵抗はなかったのですが、寒さに慣れるのには大変苦労をしました。

始めた動機はかなり不純でスキーよりもボードの方が派手で人気があったからです。私は白馬方面によく出掛けましたが、家からゲレンデまで片道1時間30分程で行ける距離で、年平均10～15回は滑りに行っていました。休みの日に朝起きて天気がよいと友人2～3人を誘ってゲレンデに行き、午後2時30分ぐらいまで滑って帰り道で温泉に寄って汗を流し、行きつけの焼肉屋で一杯やるのがパターンでした。白馬方面のゲレンデは大体行きましたが、なかでも白馬五竜とHakuba47がお気に入りのゲレンデです。朝一番のゴンドラで山頂まで上がりHakuba47のロングコースを2～3本滑るのですが、天気がよければ白馬の町並みを眼下に整地されたバーンを気持ちよく滑ることが出来ます。この快感を一度経験すると本当に病みつきになります。

4年前に石川県に転勤になり、休日は泊まりで白馬に出掛ける事が増えました。最近白馬岩岳によく行きますが、ここでオススメの食事の店を紹介します。1軒は塩の道温泉のすぐそばにある「松ノ木」というお店です。ここは氷見港直送の新鮮な魚を出してくれるお店で、新潟方面の日本酒が多数揃っています。魚も美味しいのですが、地元のカツ丼が一押しです。信州パークを使用したカツ丼で、滑った後の空腹には最適です。もう1軒は塩の道温泉から糸魚川方面に国道を下り、1km程走った左手にある「大法院」というお店です。ここは蕎麦屋ですが、刺身や焼き魚など品数が豊富です。辛味大根のしぼり汁で食べるおしぼり蕎麦も美味ですが、かき揚げが最高に美味です。かき揚げを肴にそば焼酎の蕎麦湯割りを飲むと日頃の疲れも吹き飛びます。皆さん、機会があれば是非一度立ち寄ってみて下さい。

今シーズンも5～6回滑りに行き、日常のストレスと疲れを取っています。これからの人生もスノーボードと美味しい食べ物が私を癒してくれると思います。

次の方は(株)日平トヤマ 工機事業部営業部東京営業所 松原将元さんにお願しました。ご期待下さい。



# 統計資料

## 工作機械・FA流通動態調査 1

統計1

単位百万円

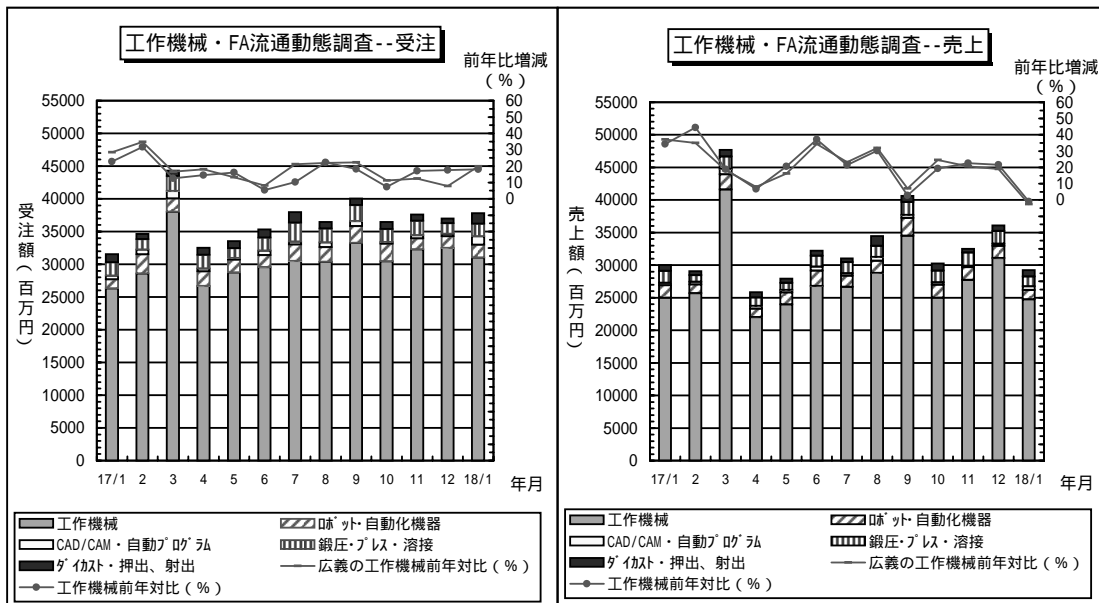
34社合計		受注				売上					
調査月次		18/1	前月比	前年比	17/4-18/1	前年比	18/1	前月比	前年比	17/4-18/1	前年比
広義の 工作機械	工作機械	31,014	-4.5%	18.0%	305,216	14.5%	24,755	-20.3%	-1.0%	271,240	17.1%
	ロボット・自動化機器	1,940	8.2%	37.1%	21,516	11.5%	1,408	-26.0%	-26.4%	19,119	12.4%
	CAD/CAM・自動プログラム	1,316	259.4%	146.8%	5,704	29.8%	585	78.1%	64.8%	4,273	10.5%
	鍛圧・プレス・溶接	1,920	18.6%	-6.2%	20,695	53.4%	1,506	-22.5%	-17.5%	16,795	31.4%
	ダイカスト・押出、射出	1,613	116.8%	25.7%	11,547	-5.1%	978	12.5%	6.4%	8,772	18.7%
	小計	37,803	2.2%	19.8%	364,678	15.4%	29,233	-19.0%	-2.6%	320,197	17.4%
工作機械以外の扱い商品	11,453	16.8%	-6.1%	124,006	10.4%	10,590	-13.5%	-2.1%	115,080	15.6%	
合計	49,654	-0.3%	13.5%	492,184	14.4%	40,245	-16.8%	-1.4%	436,418	17.0%	
従業員数		1,214	0.6%	0.0%							

統計2

単位百万円

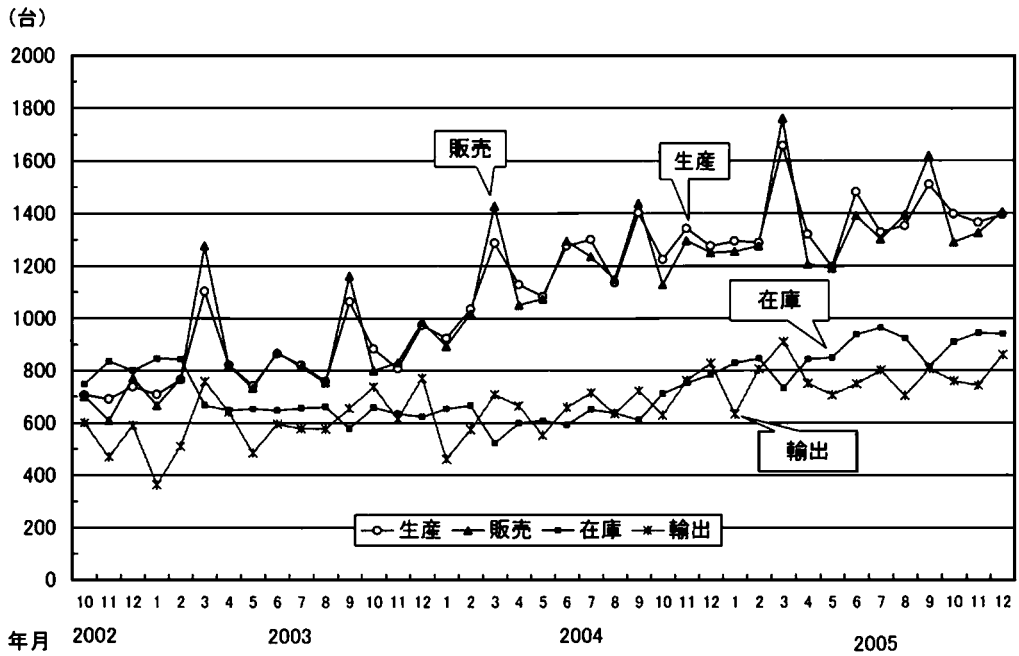
32社合計		受注				売上					
調査月次		18/1	前月比	前年比	17/4-18/1	前年比	18/1	前月比	前年比	17/4-18/1	前年比
内訳	直販	26,351	6.4%	15.7%	250,093	20.1%	19,930	-15.5%	0.7%	218,296	14.8%
	(内リース)	1,214	-45.4%	-33.0%	17,557	-1.9%	2,823	22.9%	76.3%	21,795	30.8%
	卸	9,617	-5.8%	13.2%	96,498	8.3%	8,402	-3.6%	-2.1%	86,824	7.5%
	輸入	214	-82.4%	179.4%	4,181	1.1%	76	-63.6%	-44.9%	2,336	27.0%
	輸出	6,015	51.8%	17.6%	45,023	13.9%	3,753	-26.2%	-23.3%	37,206	26.7%
	(内トランスプラント)	30	-	-90.1%	934	9.0%	140	-47.8%	89.2%	1,345	245.8%
従業員数		940	0.1%	-2.6%							

注：本調査は会員72社中統計1に関しては35社、統計2に関しては33社の回答を得て集計したものである。  
折れ線グラフは工作機械及び広義の工作機械の前年比である。  
参考までに今月のデータ提供会社総数は43社である。

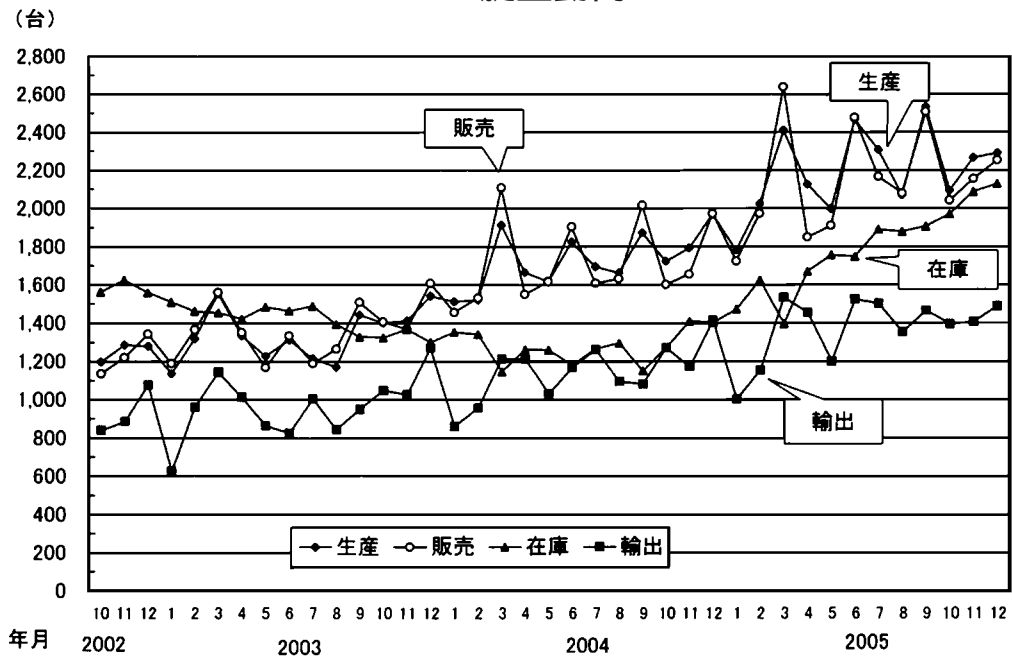


# 見てわかる 3年間の代表2機種トレンド

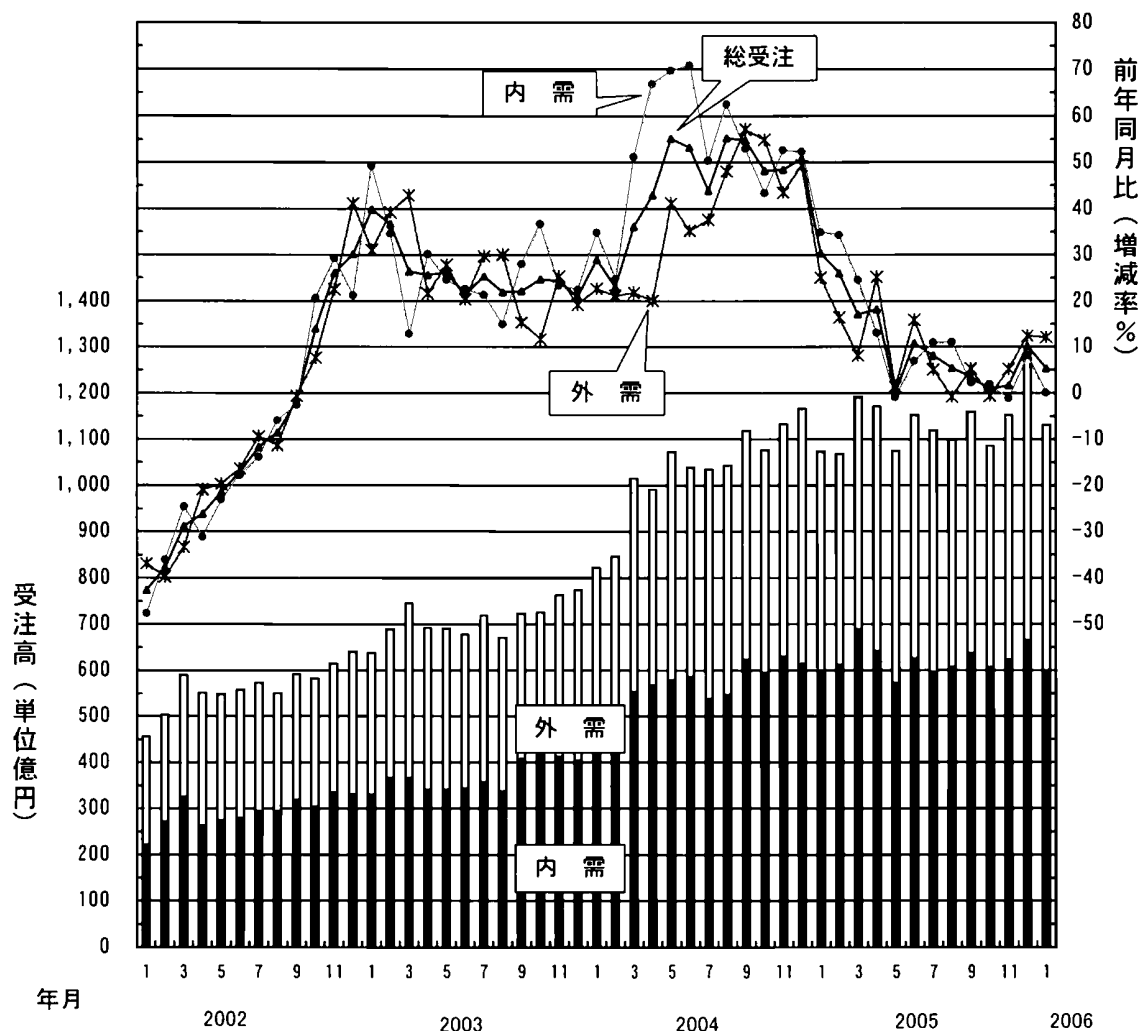
## マシニングセンタ動向



## NC旋盤動向



## 工作機械受注高月別推移



コメント：工作機械受注高月別推移

05年第4四半期の受注高は前年比で内需3.0%増、外需6.0%増、総計4.4%増と漸増。増加率はなだらかになってきたとはいえ、相変わらず1,000億円/月以上の大台を推移している。

国内投資は落ち着いている。海外が押し上げている。世界的に景気上昇の中で2006年もかなりの高原状態で推移しそうだ。

コメント：マシニングセンタ、NC旋盤動向(四半期ベース)

05年第4四半期の生産台数は前年比マシニングセンタ8.1%増、NC旋盤21.2%増。販売台数はそれぞれ9.4%増、23.3%増。輸出台数においてもそれぞれ6.3%増、11.1%増と底堅い。高水準を推移しているが、前四半期に比べると生産はそれぞれ9.8%減、3.8%減。販売はそれぞれ6.8%減、4.5%減。現在の水準が目いっぱい状態と思われる。輸出ではそれぞれ2.1%増、0.7%減と横這いである。

2006年に入りこの高水準がどこまで推移していくのが注目したい。

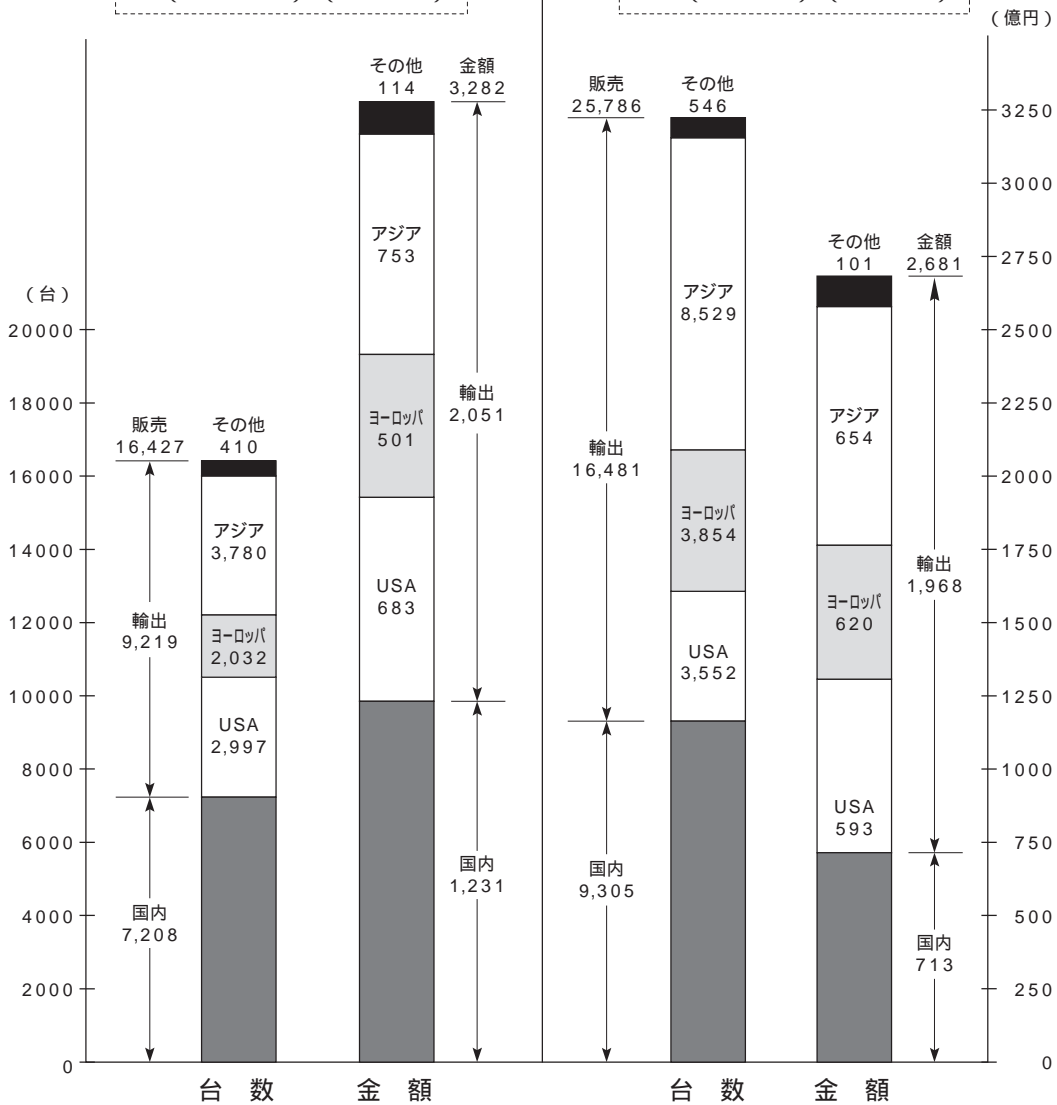
## 2005年 上位2機種の販売と輸出入

### マシニングセンタ

輸出	9,219台	2,052億円
	(+16.4%)	(+29.7%)
輸入	863台	38億円
	(+190.6%)	(+58.3%)

### NC旋盤

輸出	16,481台	1,968億円
	(+19.9%)	(+34.7%)
輸入	1,370台	55億円
	(+47.8%)	(+14.6%)



(出所) 販売：経済産業省生産動態統計調査、輸出入：財務省通関統計（輸入は速報ベース）

注：国内は、上記「販売」より「輸出」を差し引いた数値を用いている。

#### コメント：上位2機種の販売と輸出入(2005年)

前年度に引き続き世界的な好況を反映して2機種とも販売、輸出は大幅な増加となった。

特に中国等、東アジアの躍進は目覚ましいものがある。2006年も好況を反映して底堅い伸びが期待できる。この好調が続くとありがたい。

## 工作機械業種別受注額(2006年1月)

2月15日発表

(単位:百万円、%)

需要業種	期間	2005年 累計	前年比	2005年 7~9月 累計	2005年 10~12月 累計	前期比	前年 同期比	2005年 1月累計	前年 同期比	1月分	前月比	前年 同月比
機械製造業	1. 鉄鋼・非鉄金属	11,619	134.9	1,989	3,711	186.6	164.4	823	83.8	823	54.0	83.8
	2. 金属製品	22,641	102.6	4,997	4,979	99.6	93.6	1,851	106.9	1,851	138.9	106.9
	3. 一般機械 (内金型)	302,287	114.3	75,006	78,451	104.6	114.6	25,440	113.4	25,440	98.0	113.4
	4. 電気機械	73,807	112.4	18,203	17,900	98.3	108.9	5,755	106.0	5,755	100.2	106.0
	5. 自動車 (内自動車部品)	44,296	87.0	11,530	12,302	106.7	104.0	3,887	150.5	3,887	104.5	150.5
	6. 造船・輸送用機械	258,959	114.8	63,070	59,266	94.0	83.0	18,140	76.0	18,140	77.9	76.0
	7. 精密機械	110,547	108.4	29,327	23,402	79.8	74.6	7,559	88.9	7,559	109.2	88.9
	3~7. 小計	23,942	138.2	6,432	6,990	108.7	149.7	2,397	121.2	2,397	91.3	121.2
	8. その他製造業	32,913	99.8	7,522	9,198	122.3	121.7	3,451	125.7	3,451	97.0	125.7
	9. 官公需・学校	662,397	112.0	163,560	166,207	101.6	101.4	53,315	99.5	53,315	90.1	99.5
	10. その他需要部門	33,333	88.6	9,571	8,581	89.7	93.6	2,588	102.9	2,588	85.9	102.9
	11. 商社・代理店	1,588	86.2	266	694	260.9	122.8	95	66.0	95	28.0	66.0
	1~11. 内需合計	6,081	204.7	1,765	2,081	117.9	337.3	594	262.8	594	135.0	262.8
12. 外需	9,050	108.4	1,873	2,468	131.8	127.6	701	93.1	701	105.3	93.1	
1~12. 受注累計 (内NC機)	746,709	111.0	184,021	188,721	102.6	102.7	59,967	100.0	59,967	90.2	100.0	
	616,494	109.4	153,669	164,036	106.7	106.5	53,087	112.1	53,087	85.4	112.1	
	1,363,203	110.3	337,690	352,757	104.5	104.4	113,054	105.4	113,054	87.9	105.4	
	1,304,058	110.9	323,813	336,687	104.0	103.9	107,847	105.4	107,847	87.5	105.4	

販売額	1,246,501	124.9	336,287	311,152	92.5	116.0	101,467	116.6	101,467	87.7	116.6
(内NC機)	1,189,880	125.5	317,798	296,521	93.3	115.2	97,097	116.4	97,097	87.9	116.4
受注残高	644,180	115.9	611,539	644,180	105.3	115.9	656,163	114.6	656,163	101.9	114.6
(内NC機)	610,194	118.3	577,610	610,194	105.6	118.3	621,437	116.9	621,437	101.8	116.9

出所(社)日本工作機械工業会

## アメニモ、カゼニモ負けぬ 丈夫な体をもち...



宮脇機械プラント(株)  
取締役社長  
宮脇 隆一郎

年明け早々から株式市場で吹き荒れたライブドアの突風も、刑事事件として収まるどころへ収まりそうです。バブルの余波でしんどかった10年のトンネルをついこの間やっと通り抜けたばかりなのに、相変わらず法外な都合の良い金儲けに目ざとく取り組む人種が次々と出てくることや、性懲りもなくうわべのキラメキだけを取り上げて偉大な新世界の開拓者のように囃し立てる人種がこんなにも沢山いるところを見ると、日本の活力(?)はまだまだ旺盛なものだと感心すると同時に、相変わらず人間とはなかなか進化できない生き物だなと考えてしまいます。

若くて鋭い人たちが持ち前の知識とパワーで新規事業をゲーム感覚で立上げ追求するのはビジネスの一つの進め方かもしれませんが、天下御免のITベンチャービジネスの名で行われた不祥事だっただけに、不動産バブルの事件よりさらに責められるべきことが多く罪深いことだと思います。

さらに、この類の事業の成長を無定見に囃し立ててきた有力経済紙などが、事件の発覚後には手のひらを反して連日1~2頁もの紙面を割いてその罪と罰を問い掛ける様子は、大きな影響力を持つメディアにしてはあまりにも矜持がなさ過ぎる様子に腹立たしさと空しさを感じました。

さて、足元の業況に目を移しますと、中部地区の華やかなお話とは違い、私どもの兵庫県ではヤット来てくれた北国の遅い春のように感じています。それだけに今までのように好況に安堵してはまた不況時に苦しむ事のないように、今こそ「仕事の質の進化」をする絶好の機会と捉えて、顧客が期待される機械専門商社としてのアタリマエの仕事をアタリマエに、着実にこなすことが出来るように、そして「仕事の質感」を感じていただく事ができるようにシコシコと修練を積み重ねていきたいと思っています。

今年は戌年で、古来何かと変化が多く歴史の節目になる出来事が多い年回りだと言われますが、良いことにつけ悪いことにつけ変化には顕在化するまでにそれなりの潜伏期間が必ずあるものです。時の流れが速い時代になったとはいえ、「因」が「果」になるのはやはり10年が必要なようで、「10年後の大なる発展」も「10年後の危機」も考えてみれば今自分たちの足元に、しかも今日の一步にあるように思います。

「アメニモマケズ カゼニモマケズ...」の宮澤賢治の詩。これほどまでに悟りきることはとても出来ませんが、せめて「雪にも夏の暑さにも負けぬ丈夫な体を持ち...」、「よく見聞きしわかりそして...」、「東に...、西に...、南に...、北に...」歩いて行って顧客に頼りにされ評価されて適性利益も確保する力を確実に持つ。そういうアタリマエの会社に私たちはなりたいと思っています。

## 消 息

住所変更 ..... 東部正会員 (株)トーメンテクノソリューションズ 営業開始日3月6日(月)  
〒104-0028 東京都中央区八重洲2-1-6 八重洲Kビル7階  
TEL 03-5290-5970 FAX 03-5290-5990  
窓口変更 ..... 東部正会員 (株)NaITO 営業推進部産機システム室室長 伊藤 友訓

## 行事予定

東部地区委員会・研修会・懇談会 ..... 3月22日(水) 仏教伝道センター  
中部地区正副会員・リース会員懇談会 ..... 3月23日(木) (株)井高本社5階会議室  
政策委員会・定例理事会 ..... 5月10日(水) 名古屋安保ホール  
展示会  
SIMTOS2006 ..... 4月12日(火)~17日(月) 韓国・ソウル  
INTERMOLD2006 ..... 4月12日(水)~15日(土) インテックス大阪

## 編集後記

2月に入ってからの内閣府の経済社会総合研究所による12月の景気動向指数と機械受注統計調査結果の発表がありました。景気動向指数は先行・一致・遅行指数とも3ヵ月連続50%を超え、12月の機械受注実績は11月の11.2%増に続き3.9%増であり、1~3月見通しは6.5%増としっかりと景気上昇を示しています。2月17日に発表された10~12月期の実質GDP速報値も堅調な国内消費、設備投資に輸出の伸びが加わり前期比1.4%増と4半期連続のプラス成長でした。この結果1次速報ベースでの2005年の実質成長率は2.8%となります。

米国FRB議長がグリーンズパン前議長よりバーナンキ氏に替わり金融政策の行方が注目されていますが、国内物価上昇を一定の水準に治めるように金利を変更するインフレ目標導入を続けるとのことで、米ドル金利の切り上げが続くのか、或いは上げ止まるのかで、円ドル為替相場が微妙になってきました。更に日銀による量的金融緩和解除が現実化したとの観測から一時120円を窺う様相を呈していた円も、116円台まで買い戻されるなど円高が進んできており、為替予約に悩むところも多いと思います。

1月の日工会受注統計は40ヵ月連続前年比増を記録し、5.4%増の1,131億円でした。内需は前年比同水準の600億円でしたが、外需は東南アジア向けが相変わらず好調で同12.1%増の531億円でした。この結果、1月末受注残は6,561億円に達し、このところの販売額ベースで試算すると6ヵ月分を超す受注残を抱えていることとなります。各社の生産能力は強化されリードタイムの短縮が進んでいると聞きますが、まだまだ平均納期は縮まっていないようです。

巻頭言で伊吹産業(株)横幕社長は、山田方谷による優れた経済知識と正しい判断で計画され、何事にも屈しない素早い実行力によって成し遂げられた備中松山藩の財政再建について書かれています。日本の財政再建に関しては今、歳出削減と増税を含めた歳入拡大の並行策と歳出削減先行策との狭間でせめぎあいが続いていますが、日々国の借金は増加しています。何れの方策が採られるのか未定ですが、何れにせよ強いリーダーシップによる素早いアクションが求められます。

当初今年は暖冬と言われた中で一転して厳しい寒さが続き、日本海側を中心に広範囲に豪雪による被害が広がっています。雪になれた地域の方も今年の積雪の高さは経験したことがないと言われる程で、痛ましい被害を伝える報道が続きました。大陸を覆う寒波が次々に日本列島に迫る状況を見るにつけ自然のなせる業ではありますが、私たちの生活様式の変化が地球環境に影響を及ぼしているのではないかと考えてなりません。

「日工販ニュース」 Vol.18 - No.3

平成18年3月15日発行

発行 日本工作機械販売協会  
〒108-0014 東京都港区芝 5-14-15 機械工具会館3階  
電話 03-3454-7951 FAX 03-3452-7879  
発行責任者 専務理事 荘司 博章  
編集 日工販調査広報委員会  
委員長 田尻 哲男

# 日本工作機械販売協会 会員会社一覧 (50音順)

平成18年3月1日現在

## 正会員(全72社)

### [ 東部地区(36社) ]

(株) 旭 商 工 社  
 伊藤忠メカトロニクス(株)  
 今井機械工業(株)  
 (株) エム エム ケー  
 大石機械(株)  
 (株) カ ナ デ ン  
 (株) 兼 松 K G K  
 (株) 京 二  
 (株) 共 和 工 機  
 群馬工機(株)  
 (株) 国 興 會  
 (株) 三 機 商 會  
 三洋マシン(株)  
 サンワ産業(株)  
 シマモト技研(株)  
 住友商事マシネックス(株)  
 (株) セイロジャパン  
 誠和エンジニアリング(株)  
 太平興業(株)  
 (株) 高 橋 機 械  
 帝通エンジニアリング(株)  
 (株) テ ヅ カ  
 東京金子機械(株)  
 (株) トーメンテクノソリューションズ  
 常盤産業(株)  
 トッキ・インダストリーズ(株)  
 独協機械(株)  
 (株) ト ミ タ  
 (株) N a I T O  
 日鋼商事(株)  
 藤田総合機器(株)  
 松茂工販(株)  
 三菱商事テクノス(株)  
 (株) ヤ マ モ リ  
 ユアサ商事(株)  
 米沢工機(株)

### [ 中部地区(20社) ]

石原商事(株)  
 (株) 井 高  
 岡谷機販(株)  
 カト一機械(株)  
 釜屋(株)  
 岐阜機械商事(株)  
 甲信商事(株)  
 三栄商事(株)  
 三機商事(株)  
 サンコー商事(株)  
 三立興産(株)  
 下野機械(株)

(株) 大 成  
 (株) 大 誠  
 (株) 東 陽  
 (株) 日 本 精 機 商 會  
 浜松貿易(株)  
 (株) 不 二  
 山下機械(株)  
 ワシノ商事(株)

### [ 西部地区(16社) ]

赤澤機械(株)  
 伊吹産業(株)  
 植田機械(株)  
 (株) お じ ま  
 関西機械(株)  
 京華産業(株)  
 五誠機械産業(株)  
 桜井機械(株)  
 (株) ジ ー ネ ッ ト  
 大幸産業(株)  
 (株) 立 花 エ レ テ ッ ク  
 西川産業(株)  
 日本産商(株)  
 マルカキカイ(株)  
 宮脇機械プラント(株)  
 (株) 山 善

## 賛助会員(全73社)

### [ 製造業(53社) ]

(株) エ グ ロ  
 S M C (株)  
 エヌティーツール(株)  
 エンシュウ(株)  
 オーエスジー(株)  
 オークマ(株)  
 大隈豊和機械(株)  
 大阪機工(株)  
 (株) 岡本工作機械製作所  
 (株) 神崎高級工機製作所  
 (株) 北 川 鉄 工 所  
 キタムラ機械(株)  
 キヤムタス(株)  
 京セラ(株)  
 (株) グラフィックプロダクツ  
 黒田精工(株)  
 (株) ジェイテクト  
 (株) シギヤ精機製作所  
 新日本工機(株)  
 住友電工ハードメタル(株)  
 (株) ソ デ ィ ッ ク  
 大昭和精機(株)  
 高松機械工業(株)

(株) ツ ガ ミ  
 津田駒工業(株)  
 (株) テ ク ノ ワ シ ノ  
 (株) 東 京 精 密  
 東芝機械マシナリー(株)  
 東洋精機工業(株)  
 (株) ナガセインテグレックス  
 中村留精密工業(株)  
 (株) 日 研 工 作 所  
 (株) 日 平 ト ヤ マ  
 野村精機(株)  
 浜井産業(株)  
 日立ツール(株)  
 ファナック(株)  
 富士機械製造(株)  
 ブラザー販売(株)  
 豊和工業(株)  
 牧野フライス精機(株)  
 (株) 牧野フライス製作所  
 (株) 松浦機械製作所  
 三井精機工業(株)  
 (株) ミ ツ ト ヨ  
 三菱重工業(株)  
 三菱電機(株)  
 三菱マテリアルツールズ(株)  
 (株) ミ ヤ ノ  
 メルダシステムエンジニアリング(株)  
 (株) 森精機製作所  
 安田工業(株)  
 ヤマザキマザック(株)

### [ リース業(20社) ]

エヌ・ティ・ティ・リース(株)  
 協同リース(株)  
 共友リース(株)  
 近畿総合リース(株)  
 興銀リース(株)  
 首都圏リース(株)  
 昭和リース(株)  
 GEキャピタルリーシング(株)  
 住商リース(株)  
 ダイアモンドリース(株)  
 東京リース(株)  
 東銀リース(株)  
 東芝ファイナンス(株)  
 日本機械リース販売(株)  
 日立キャピタル(株)  
 (株) 芙蓉リース販売  
 三井住友銀リース(株)  
 三井リース事業(株)  
 三菱電機クレジット(株)  
 U F J セ ン ト ラ ル リ ー ス (株)